

## 「熊本地震の被災調査、応急危険度判定」報告

2016年6月3日

会員 立元和男

6月3日(金)鹿児島市勤労者交流センター 第一会議室にて「熊本地震の被災調査、応急危険度判定」報告会を開催いたしました。会員10名が出席した会となりました。

報告会内容は以下の通りでした。

(1)地盤改良(アクパド工法)被害調査:(株)古川組

(2)熊本地震に於ける応急危険度判定について:立元和男・木場正人

(1)地盤改良(アクパド工法)被害調査については、熊本県内に於ける地盤改良(アクパド工法)の施工実績と熊本地震による被害状況調査の報告で、約260件の工事のうち被害は全くなしとの事でした。

今後の建築工事に際しての大きな資料になりうると感じました。

(2)熊本地震に於ける応急危険度判定について、鹿児島県の要請により4月25日鹿児島県・建築士会・建築士事務所協会から8名の参加で、現場に乗り込み車移動にて宇土市内を調査しました。

木造12棟、鉄骨造2棟の調査のうち、危険5棟・注意5棟・調査済み3棟という結果でした。

調査結果を依頼者へ地図に色分けしたものを提出して終了となりました。震源より結構離れた地域ではありましたが、木造の住宅など古来の工法も残っており、かなりの影響があったことを確認致しました。

決して人ごとではなく、今後の建築に生かせるように各方面にも働きかける事が必要かと思いました。

